

DEI NEWSLETTER

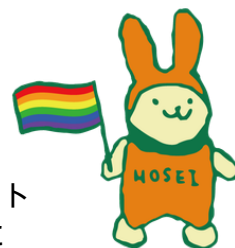
法政大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター（DEIセンター）



目次

- Tokyo Pride 2026に出展しました
- DEIシンポジウムの開催
- 男女共同参画部会News
- DIVERSITY COLUMN
- レインボーサロン開催報告
- お知らせ

Tokyo Pride 2026 に出展しました



2026年6月6日（土）・7日（日）に代々木公園で開催されたアジア最大級のLGBTQ+イベント「Tokyo Pride 2026」に「法政大学ブース」を出展しました。2日間で計715人もの方々に足を運んでいただきました。

ブースでは学生スタッフによる2つの企画を実施しました。1つは来場者に学校生活における「安心できたこと・嬉しかった対応」「困ったこと・不安なこと・改善してほしいこと」「安心して過ごすためにあったらいいと思うこと」を付箋に書いてボードに貼ってもらう企画で、もう1つは、法政大学公式マスコット「えこぴょん」の塗り絵企画です。塗り絵では、それぞれが思い思いの色で塗った、カラフルで個性豊かなえこぴょんがたくさん完成しました。また、コーディネーター企画として、法政大学でのDEIに関する取り組みを紹介したパネル展示も行い、他大学の関係者、受験生、卒業生、保護者の方々など、非常に多くの方に関心をお寄せいただきました。



Khor総長と学生スタッフ等の集合写真



法政大学ブースの様子

開催報告記事



法政大学ダイバーシティ宣言10周年記念 DEIシンポジウムの開催

ダイバーシティ宣言発表10周年を記念し、これまでの取り組みを振り返るとともに、今後の大学における多様性・公平性・包摂性推進のあり方について考えるシンポジウムを開催します。



詳細・申込

多様性と共生のキャンパスへ：大学におけるDEI推進の意義と本質的課題

- ・日時：2026年11月28日（土）14時00分～16時30分
- ・方法：ハイブリッド開催 会場：法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート5階G503
- ・対象：法政大学学生・教職員、一般
- ・プログラム

報告「法政大学DEI推進の歩み」 武石 恵美子 法政大学DEIセンター長

基調講演「＜多様性＞という違和感：構造的課題を問い直す」

岩淵 功一 シドニー工科大学名誉客員教授／ヴェネチア大学客員専門研究員

大学の取組①「筑波大学におけるLGBTQ+の学生に対する支援の実状と課題」

河野 禎之 筑波大学人間系助教／ヒューマンエンパワーメント推進局

大学の取組②「東京大学における留学生支援：DEIの観点からの課題」

大西晶子 東京大学相談支援研究開発センター／グローバル教育センター教授

パネルディスカッション モデレーター：Diana Khor 法政大学総長

法政大学ダイバーシティ宣言10周年記念 DEIシンポジウム
多様性と共生のキャンパスへ
- 大学におけるDEI推進の意義と本質的課題 -

法政大学のダイバーシティ宣言発表10周年を記念し、これまでの取り組みを振り返るとともに、今後の大学における多様性・公平性・包摂性（DEI）推進のあり方について考えるシンポジウムを開催します。

Diana Khor 法政大学総長、パネリストとして参加。モデレーター。

プログラム

- ・報告「法政大学DEI推進の歩み」 武石 恵美子 法政大学DEIセンター長
- ・基調講演「＜多様性＞という違和感：構造的課題を問い直す」
岩淵 功一 シドニー工科大学名誉客員教授／ヴェネチア大学客員専門研究員
- ・大学の取組①「筑波大学におけるLGBTQ+の学生に対する支援の実状と課題」
河野 禎之 筑波大学人間系助教／ヒューマンエンパワーメント推進局
- ・大学の取組②「東京大学における留学生支援：DEIの観点からの課題」
大西晶子 東京大学相談支援研究開発センター／グローバル教育センター教授
- ・パネルディスカッション 登壇者：岩淵 功一、河野 禎之、大西晶子
モデレーター：Diana Khor 法政大学総長

実施概要

日時 2026年11月28日（土）14時00分～16時30分

方法 ハイブリッド開催、言語：日本語
【会場】法政大学市ヶ谷キャンパス富士見ゲート5階 G503
【オンライン】ZOOM

対象 法政大学学生・教職員、一般

申込 WEBフォームより申し込み（11/25まで）

※詳細情報や出席の可否を要約し、申し込み後、必要に応じて個別に案内いたします。11月13日（日）までに具体的なご返信のお願いです。申し込み後、ご返信が来ない場合は、申し込みが完了したとさせていただきます。

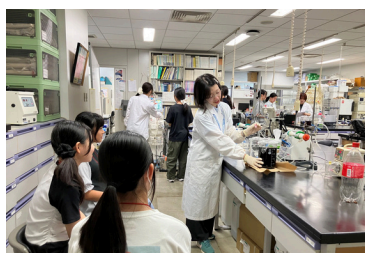
法政大学 ダイバーシティ・エキスパート・インクワージョンセンター（DEIセンター）
MAIL: dei@ml.hosei.ac.jp 東京都千代田区富士見2-17-1

ジェンダー平等を実現しよう ～男女共同参画部会News～



男女共同参画部会では、女性の理系進学や、理系研究者が少ない現状を踏まえ、女子中高生の理系進学を促進する取り組みを行っています。小金井キャンパスや付属校で次の3つのイベントを開催し、250人以上の中高生や保護者が参加しました。

理工系の研究を体験しよう！～法政大学小金井キャンパスで考える未来のじぶん～



2026年8月4日に学生のトークイベントと理系の研究室を体験するプログラムを開催しました。定員の倍以上の申込があり、抽選で当選した女子中学生と保護者が参加しました。イベントの事前・事後に実施した参加者アンケートでは、理工系分野のイメージで「身近、親しみやすい」の回答が14.4ポイント増加、進路選択の考えで「理系」の回答が11.7ポイント増加するなど、理工系分野に対するポジティブな変化が見られました。中学生が研究室体験に参加している間、保護者の方向けにキャンパスツアーと理系の就職・キャリアに関する説明会を実施しました。

STEMガールズトーク出張版 ～先輩に聞く！理系女子の学びやキャリアの選択～

2026年8月2日に小金井オープンキャンパスで、公益財団法人山田進太郎D&I財団との共催で「STEMガールズトーク出張版」を開催しました。本学理系学部的女子学生と卒業生計6名が登壇し、大学生活や研究内容、理系を選択したきっかけなどについてリアルな声を届けました。アンケートでは、約8割の参加者が「理工系の学部に進学したい気持ちが強くなった」と回答しており、理工系への進学をより身近に感じ、進路について考えるきっかけとなったようです。

二中高「理工系進路発見プログラム」

2026年6月17日に、SONY STEAM GIRLS EXPERIENCE、法政大学DEIセンター、法政大学第二中・高等学校の共催で「理工系進路発見プログラム」を開催しました。二中高卒業生で、本学理工学部で学ぶ女子学生が、一人でも多くの中高生に理工系という進路選択肢を身近に感じてもらいたいという思いから企画しました。

DIVERSITY COLMN

理工系に女性がいることを
当たり前景色に

松尾 由賀利 理工学部教授
ダイバーシティ推進・男女共同参画担当業務執行理事





誰もが自分らしく過ごせる学校を目指して ～中高での取り組み～

養護教諭として長年、学校現場に立つ中で、「教室に入れない」「自分らしく過ごせない」など多種多様な悩みを持つ生徒たちと出会いました。不登校の背景も悩みも、一人ひとり異なりますが、「本人が変わること」だけが解決ではありません。学校の環境を少し変えるだけで、生きやすさが大きく変わることも少なくないのです。

私はこの数年、不登校支援と性の多様性への配慮に力を入れて取り組んできました。不登校支援では、同じ経験を持つ保護者同士が安心して思いを語り合える「保護者の集い」を立ち上げ、さらに、教室に入りづらい生徒が安心して過ごせる場であり、「特性に合わせた学び方」を支援する「登校・学習支援室」を開設しました。生徒だけでなく保護者にも寄り添い、家庭が孤立しないこと、そして学校の中に「ここなら大丈夫」と思える居場所があることが、子どもの安心につながると感じています。

一方、性の多様性への取組では、ある生徒たちの声が大きな転機となりました。制服や体育、委員会活動、宿泊行事、施設面など、学校生活のさまざまな場面で繰り返される男女分けに苦しさを感じ、「学校のトイレは使ったことがない」「仕方ないと分かっているけれど、つらい」と伝えてくれた言葉は、決して忘れられません。

それまで私は、「申し出（カミングアウト）がなければ動けない」と考えていました。しかし、多くの人（マジョリティ）は、自分の性自認や性的指向について、あえて周囲に説明する必要なく学校生活を送っています。誰もがカミングアウトの必要なく、安心して学校生活を送ることのできる環境を整えることが大切だと学び、大学の「ダイバーシティに関する学生・教職員のためのガイドライン」を参考に不要な性別欄の見直しや呼称の工夫を進めました。また、健康診断を性別で分けて混合で実施する形への変更も行いました。

こうした取組に加え、UDフォントやカラーユニバーサルデザインの導入、教員研修での「学びのユニバーサルデザイン（UDL）」の学習など、学校全体で誰もが学びやすい環境づくりを進めています。

これらに共通しているのは「特別な配慮を特別な人のために行う」という発想ではありません。困っている人が利用しやすい環境は、結果として多くの人にとっても利用しやすい環境になります。教室以外の居場所は、不登校の生徒だけでなく、一時的に心身の不調を抱えた生徒の支えにもなります。性別によって一律に対応を分けるのではなく、一人ひとりのプライバシーに配慮することは、誰もが安心できる環境につながります。

DEIは、「特定の誰か」だけのための取組ではありません。誰もが安心して学び、働き、自分らしくいられる環境をつくることです。学校は、多様な子どもたちが共に生活する場所だからこそ、「特定の誰かのために変える」のではなく、「誰にとっても安心できる学校」を目指して環境を整えておくことが、DEIの第一歩ではないでしょうか。

これからも、多くの人の声に耳を傾け、学びを深めながら、誰一人排除されない学校づくりに取り組んでいきたいと考えています。違いを特別なものとして扱うのではなく、違いがあっても誰もが安心して学び、その人らしくいきいきと過ごせる学校でありたい。そのような学校で子どもたちを育むことが、やがては学校だけでなく社会全体のDEIにつながると信じています。

レインボーサロン開催報告

DEIに関するテーマについて学び、話し、繋がる場として、学生や教職員を対象に「レインボーサロン」を定期的に行っています。

第10回 “付き合う” ってなんだっけ？

～アロマンティック・アセクシュアルの視点で広がる関係性とあり方～

2026年6月29日に第10回レインボーサロンをハイブリッド形式で開催し、100人以上の学生から申し込みがありました。DEIセンターの個別相談等の中で、恋愛やパートナーシップ、関係性に悩む学生の声があることから、「“付き合う” って、そもそもどういうことだっけ？」という問いから、「当たり前」について考える機会として企画しました。講師にはAs Loopのなかげんさんを講師としてお迎えし、「他者に恋愛／性愛感情を抱かないあり方」や、社会の恋愛・性愛、交際の形について見つめなおす視点、様々なあり方のお話をいただきました。

第11回 法政大学における、男女の枠組みにあてはまらない性を生きる学生への対応

～相談事例を踏まえ、教職員にできること

2026年7月30日に第11回レインボーサロンをオンラインで開催し、44名の教職員が参加しました。大学における男女の枠組みにあてはまらない性を生きる学生の困難事例を紹介し、ミスジェンダリングやアウティング、望まないカミングアウトを防ぐために法政大学ではどのような対応ができるのか、具体的な対応例についてお話ししました。

2026年度末まで学内者のみオンラインで動画の視聴が可能ですので、ぜひご覧ください。



動画はこちら
※統合認証ログイン

朝日新聞Thinkキャンパス記事の掲載

本学のDEIについての座談会の内容が、朝日新聞Thinkキャンパスに掲載されました。
Diana Khor総長、グローバル教養学部の平森大規助教、DEIセンターコーディネーターや学生スタッフが、これまでの取り組みや課題、そして今後の方向性や将来像などについて語り合いました。ぜひお読みください。

朝日新聞Thinkキャンパス

「自由を生き抜く実践知」を掲げる法政大学では、「DEI」を教育の中核に位置付ける



多様性・公平性・包摂性に関する意識調査

本学の学生や教職員等を対象に、「多様性・公平性・包摂性（DEI）に関する意識調査」を実施しています。
メール等で案内しているWEBフォームより、ご回答にご協力をお願いします（回答は任意です）。

本調査は、本学が属性（ジェンダー・セクシュアリティ、国籍・文化的背景、障がいの有無等）に関わらず安心して学び働ける環境となっているかを把握するとともに、ダイバーシティ宣言やDEIセンターの認知度・浸透度を測るために実施します。

定期的な調査を通じて学内のDEI環境の実態を把握し、施策の改善に活かすとともに、DEI目標の設定および効果・進捗の検証に活用してまいります。

課外教養プログラム 法政大学総長に聞いてみよう！DEIって何？

課外教養プログラムプロジェクト（DEIセンター共催）で、小金井キャンパスでKhor総長と一緒にDEIについて考えるワークショップを開催します。

日時：10月23日（金）15:10-16:50
場所：法政大学小金井キャンパス管理棟3階
小金井DEIセンター
対象：本学学部生
定員：20名
講師：Diana Khor 法政大学総長



東京家政学院大学・法政大学共催FD講演会

東京家政学院大学と法政大学の共催により、「令和8年度第1回FD講演会「相談事例にみる LGBTQ+・文化的マイノリティ学生の困難と対応 ～多様な背景のある学生が安全に学べる大学に向けて」がオンライン（Zoom）にて開催されました。

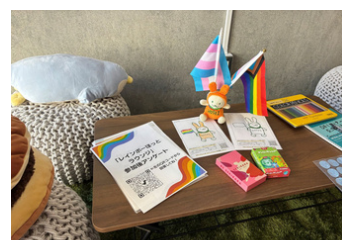
講演では、DEIセンターのコーディネーターが講師を務め、相談事例をもとに、課題と対応策について解説を行いました。

本研修は、多様な背景を持つ学生が安心して学べる環境づくりを目的に実施され、両大学から約140名の教職員が参加しました。すべての構成員が安全に学べるキャンパスの実現に向け、教職員の意識を見直す有意義な機会となりました。

法政レインボーほっとラウンジ

「法政レインボーほっとラウンジ」は、セクシュアルマイノリティや、そうかも？と思っている人＆アライのための安全な居場所として学生スタッフが企画・運営しています。
10月は多摩キャンパスにて交流会を開催します。

交流会テーマ「"好き"ってなんだろう？」
【日時】10月13日（火）13:00～14:00
【場所】多摩キャンパス DEIセンター
（社会学部食堂A棟6号館1階Patio）



以前参加した学生の開催報告

- ・「物理的な安心できる場所だけでなく、安心できる人間関係について話し、互いの安心できる場所について理解を深めることができました。」
- ・「場の空気との関わり方について思っていることをお互いに共有できて、悩んでいるのは自分だけではないと実感できて、うれしかったです。」

法政大学 ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンセンター(DEIセンター)

<https://www.hosei.ac.jp/diversity/>